

つたえる地域 つながる地域

八戸SDGsフォーラム

健康寿命の延伸、プラごみ対策…

高校生ら幅広く提言

八戸 八戸市の「はつち」で開催中の、より良い社会になるための活動を考える「八戸SDGs(持続可能な開発目標)フォーラム」は30日、市内の高校や

企業による事例発表が行われた。生徒らは健康寿命の延伸に向けたアイデアや、プラスチックごみ対策など幅広いテーマで提言し、聴衆に訴え掛けた。(佐々木拓紀)

八戸学院大地域経営学部が、世界中が達成を目標とする持続可能な開発目標を、同市と照らし合わせて考えを深めることを目的に開いてい

八戸工大一高は、健康寿命を延ばすために、病院受診によって運動施設利用券と交換できるポイントの導入を提案。「子ども食堂」に携わった生徒は、活動から集団になじみにくい子どもがいることに気づき、過ごしやすい環境づくりの必要性を説明した。

市内4校 活動紹介パネル展も

八戸水産高は、船員らの意見を、同市鮫町の